

2022年3月期 第2四半期決算概要

2021年11月5日

千代田化工建設株式会社



I 決算概要

II 成長戦略トピックス

III 主要遂行中案件

I 決算概要

1 ハイライト

1.

業績

完成工事高、完成工事総利益、営業利益、経常利益は通期予想に対して順調に進捗。

2.

受注

本年7月に受注したインドネシア銅製錬プロジェクトを計上、通期予想を達成。

2 損益計算書

(単位: 億円)

	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	増減	2022年3月期 通期予想 【7月30日修正】	進捗率
完成工事高	1,615	1,474	△142	3,000	49%
完成工事総利益	111	119	8	260	46%
完成工事総利益率	6.9%	8.1%	+1.2pt	8.7%	△0.6pt
販売費・一般管理費	△60	△56	3	△150	38%
営業利益	52	63	11	110	57%
経常利益	48	60	12	90	67%
純利益*	58	△153 ^(注)	△211	△140	N.A.
為替レート(円/米ドル)	106	112		111	

(注) 純利益は第1四半期△172億円から19億円改善。

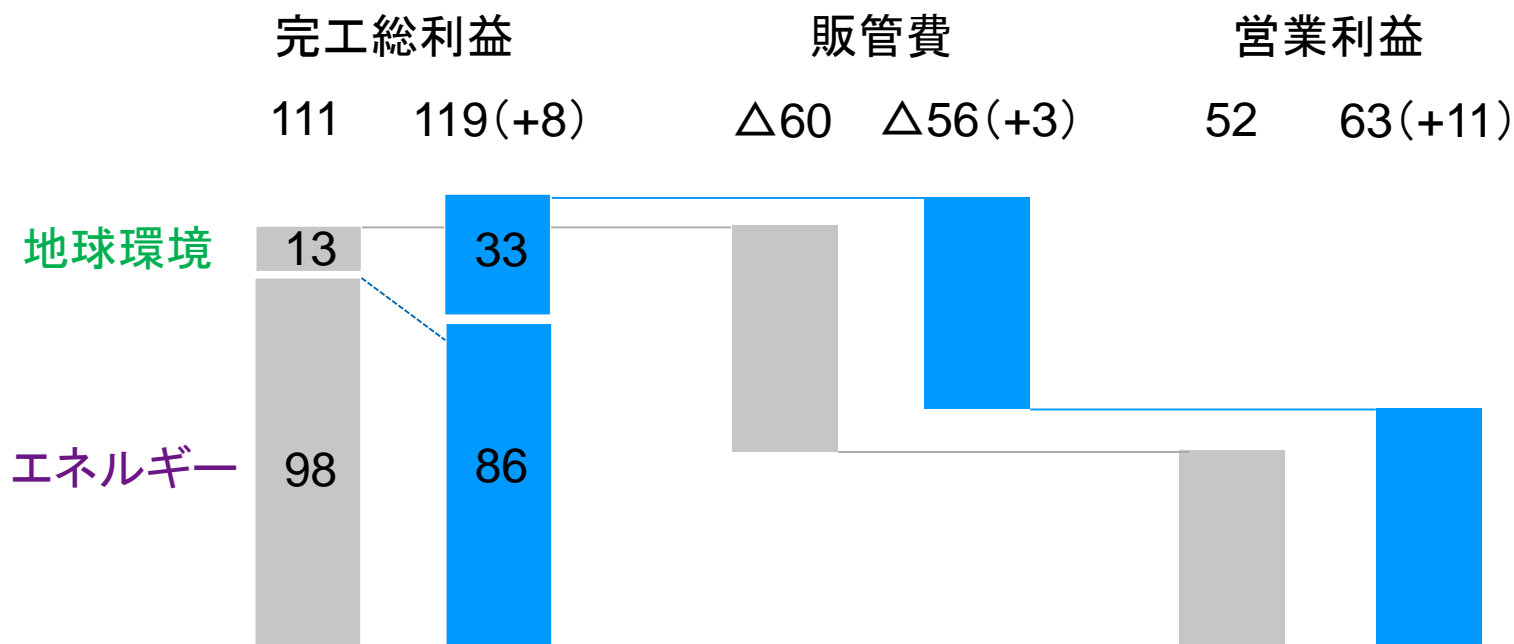
- 第1四半期は、イクシスLNGプロジェクト(完工済み)での顧客との係争に係り、和解による決着を前提に特別損失△204億円を計上。
- 顧客との和解は10月に成立、10月15日に適時開示済み。

* 親会社株主に帰属する当期純利益

3 利益増減分析

(単位: 億円)

■ 2022年3月期第2四半期実績
 ■ 2021年3月期第2四半期実績



()内: 2021年3月期第2四半期実績比増減

4 バランスシート

(単位:億円)

	2021年 3月末	2021年 9月末	増減		2021年 3月末	2021年 9月末	増減
流動資産	3,059	2,797	△262	流動負債	2,447	2,403	△43
現金・預金等	1,070	712	△358	営業負債*3	1,900	1,689	△210
営業資産*1	573	552	△21	工事損失引当金	344	346	2
未収入金	773	739	△33	固定負債	482	482	0
JV持分資産*2	568	673	104	長期借入金	450	450	0
固定資産	237	234	△3	純資産	367	145	△223
総資産	3,296	3,030	△266	負債・純資産	3,296	3,030	△266
				自己資本	364	141(注)	△223
				自己資本比率	11.0%	4.7%	△6.4pt

(注) 自己資本は第1四半期124億円から19億円改善。

*1 営業資産＝受取手形・完成工事未収入金及び契約資産＋未成工事支出金

*2 JV持分資産＝ジョイントベンチャーにおける当社持分に相当する現預金

*3 営業負債＝支払手形・工事未払金＋契約負債(未成工事受入金)

5

受注高・受注残高

(単位:億円)

	受注高 ^{*1}	受注残高 ^{*2}
エネルギー分野	227	9,189
地球環境分野	3,385	4,135
合計	3,612 [*]	13,324

*受注高は通期予想3,000億円に対して進捗率120%

受注残高主要案件	1,000億円以上	100億円以上
エネルギー分野	<ul style="list-style-type: none"> カタールLNG ゴールデンパスLNG 	<ul style="list-style-type: none"> タンゲーLNG
地球環境分野	<ul style="list-style-type: none"> インドネシア銅製錬 	<ul style="list-style-type: none"> ワクチン原薬製造設備 蓄電池システム バイオマス発電

*1 受注高:2022年3月期第2四半期

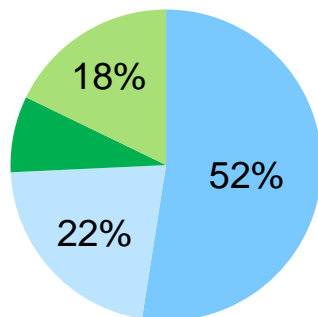
*2 受注残高:2021年9月末

完成工事高内訳

(単位:億円)

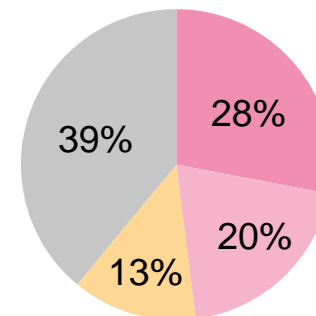
【2022年3月期第2四半期】

分野別



エネルギー	1,090
■ LNG・その他ガス関係	761
■ 石油・石油化学	329
地球環境	384
■ 医薬・生化学・一般化学関係	126
■ 環境・新エネルギー・インフラ・その他	258
合計	1,474

地域別

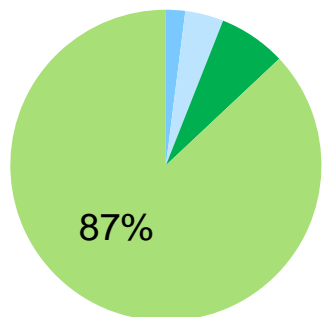


海外	902
■ 中近東・アフリカ	413
■ 北中南米	297
■ アジア・オセアニア	192
■ その他海外	0
国内	572
合計	1,474

(単位:億円)

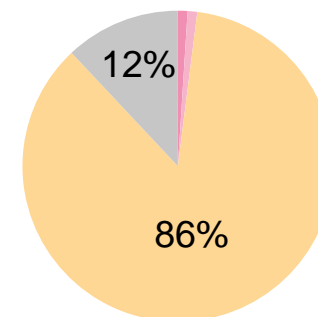
【2022年3月期第2四半期】

分野別



エネルギー	227
■ LNG・その他ガス関係	67
■ 石油・石油化学	160
地球環境	3,385
■ 医薬・生化学・一般化学関係	247
■ 環境・新エネルギー・インフラ・その他	3,138
合計	3,612

地域別



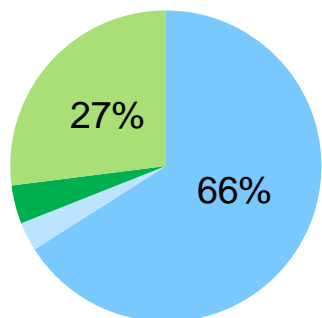
海外	3,164
■ 中近東・アフリカ	26
■ 北中南米	45
■ アジア・オセアニア	3,093
■ その他海外	0
■ 国内	448
合計	3,612

受注残高内訳

(単位:億円)

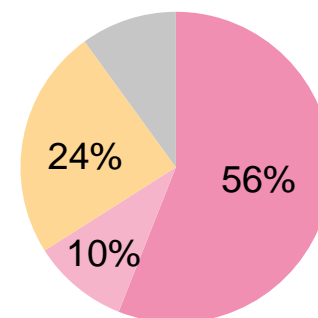
【2021年9月末】

分野別



エネルギー	9,189
■ LNG・その他ガス関係	8,853
■ 石油・石油化学	337
地球環境	4,135
■ 医薬・生化学・一般化学関係	554
■ 環境・新エネルギー・インフラ・その他	3,581
合計	13,324

地域別



海外	12,106
■ 中近東・アフリカ	7,480
■ 北中南米	1,375
■ アジア・オセアニア	3,251
■ その他海外	0
■ 国内	1,218
合計	13,324

Ⅱ 成長戦略トピックス

案件

インドネシア銅製錬プラント建設

顧客

P.T. Freeport Indonesia

納期

2024年

遂行
状況

- 設計・調達を開始
- 現場工事を9月に開始、Joko大統領を迎えた起工式を10月に開催

【意義】

- 銅は脱炭素社会の主要素材
- 単一ラインとして世界最大級の生産能力
- IFC*の環境規定に準拠

*International Finance Corporation



起工式の様子(写真中央はJoko大統領)



Joko大統領(中央)がサイトを視察の様子

当社技術の優位性を生かした商用化に向けた取り組みは着実に進捗

01

中部圏における海外輸入水素の受入配送事業に関する実現可能性調査

住友商事(株)殿、トヨタ自動車(株)殿、(株)日本総合研究所殿、(株)三井住友銀行殿と当社が共同でNEDOから受注し、調査を実施中。

02

水素サプライチェーン実証実験に輸入水素を供給

当社が組合員企業として参画する「次世代水素エネルギーチェーン技術研究組合」(AHEAD)を通して、ENEOS(株)殿が推進する本格的な水素の大量消費社会を見据えた製油所での実証事業に向けてブルネイから水素を輸送・供給する。

03

CO₂フリー水素サプライチェーン

ENEOS(株)殿、豪州クイーンズランド工科大学と協働。豪州で再生可能エネルギー由来のCO₂フリー水素を製造、日本に輸送し、燃料電池自動車(FCV)に充填・走行迄の水素サプライチェーン実証に世界で初めて成功。

04

オランダでの国際間サプライチェーン事業展開

欧州における水素輸入のハブになることを目指す欧州最大港のオランダ・ロッテルダム公社、クーレターミナル社、三菱商事(株)殿と国際間水素サプライチェーン構築に関する共同調査を実施中。

05

シンガポールでの国際間サプライチェーン事業展開

シンガポール有数の総合ユーティリティ会社で政府系コングロマリットであるSembcorp社、三菱商事(株)殿とSembcorp社関連事業の脱炭素化に資する水素サプライチェーンに関わる戦略的提携(MOU)を合意、事業化に向けて協議中。



MOU調印式の様子

ワクチン原薬製造設備の増設工事を遂行中

- 塩野義製薬(株)殿向け遺伝子組み換えタンパク質による新型コロナウイルス向けワクチンの原薬製造プラント
- 本年3月に原薬製造1ラインを完工
- さらに1ラインの増設、付帯設備のEPC業務を遂行中



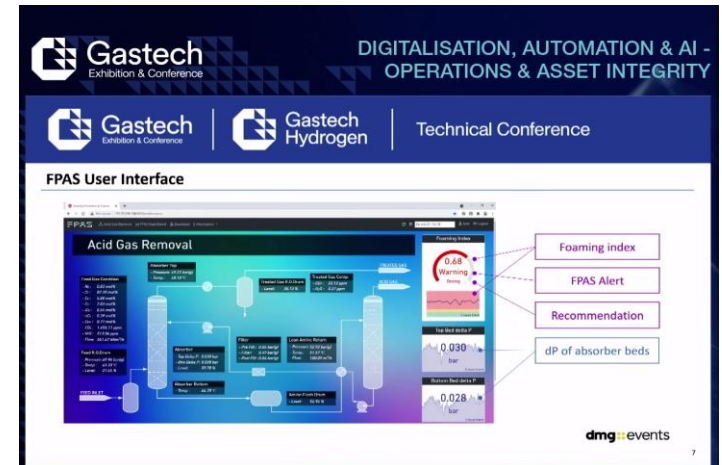
ワクチン原薬製造設備イメージ図

EFEXIS®*¹の成果をADNOC LNG社*²と共同でGastech2021で発表

LNGプラントの稼働率向上に貢献するFoaming Prediction AI System*³をADNOC LNG社(アブダビ・ガス石油公社)の運転データや運転知見、当社のエンジニアリング知見、デジタル・AI技術を融合して開発。



Gastech2021でADNOC LNG社と共同発表の様子



*³ Foaming Prediction AI System

LNGプラント、製油所等の酸性ガス除去設備における異常(フォーミングの発生)を予測し、設備の安定操業に貢献

[ソリューション紹介Webリンク](#)

*¹ 顧客のプラント操業の最適化・自律化に貢献するデジタルソリューション

*² ADNOC LNG社とは同社のLNGプラント向けに最新デジタル技術を提供する覚書を2018年に締結。

Ⅲ 主要遂行中案件

1

主要遂行中案件(エネルギー分野)

案件	米国・テキサス・エチレン	インドネシア・タングーLNG*1	米国・ゴールデンパスLNG
顧客	Gulf Coast Growth Ventures (ExxonMobilとSABICのJV)	BP Berau Ltd.	Golden Pass Products (ExxonMobilとQatarEnergy*2 のJV)
パートナー	Kiewit Energy Group Inc.	Saipem, Tripatra	Zachry, McDermott
納期	2021年4Q	2022年	2025年
遂行状況	<ul style="list-style-type: none"> 完工を達成 (Mechanically completed) 	<ul style="list-style-type: none"> 建設工事を遂行中 	<ul style="list-style-type: none"> 設計・調達業務並びに 現場工事を遂行中

案件	カタールLNG(NFE)
顧客	QatarEnergy*2
パートナー	Technip Energies
納期	2027年
遂行状況	<ul style="list-style-type: none"> 設計・調達・工事計画業務を遂行中 現場工事の起工式を10月に開催



*1 インドネシア・タングーLNG

*2 Qatar Petroleumは2021年10月にQatarEnergyに社名を変更。

2

主要遂行中案件(地球環境分野)

案件	ワクチン原薬製造設備	蓄電池システム	バイオマス発電
事業分野	ライフサイエンス	エネルギーマネジメント	再生可能エネルギー
顧客	塩野義製薬(株)殿	北海道北部風力送電(株)殿	袖ヶ浦バイオマス発電(株)殿
納期	2022年	2023年1Q	2022年2Q
遂行状況	<ul style="list-style-type: none"> 1ラインの増設、付帯設備のEPC業務を遂行中 	<ul style="list-style-type: none"> 建設工事を遂行中 	<ul style="list-style-type: none"> 建設工事を遂行中



蓄電池システム建設現場

永続的な発展と社会から
一層信頼される企業を目指して



Energy and Environment in Harmony

千代田化工建設株式会社 総務部IR・広報・CSR セクション <https://www.chiyodacorp.com/jp/>

この資料には、事業戦略・本資料発表時における将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があり、予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。従いまして、この業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。